

# お弁当から始まる「いのちのつながり」可視化プロジェクト —共感をデザインする食の探究—

徳島市立高校

VISION MASHUP STAGE  
～私が握る2050年の未来設計図～ Supported by Tokushima



## 開催概要

大会名：VISION MASHUP STAGE～私が握る2050年の未来設計図  
日程：2025年10月11日（土）・12日（日）  
会場：万博会場内の関西パビリオン（多目的エリア）収容：約100名

登壇者は、「スペシャルナビゲーター」3名が万博で設定するテーマから1つのテーマを選択し、そのテーマに沿って、2050年に「いのち輝く未来社会」を実現するための必要なアイデアやその過程（＝設計図）について提案いただきます。



メインテーマ「わたしたちが描く、いのち輝く未来社会～2050年への設計図」

万博のテーマ「いのち輝く未来社会」の関連し、2050年に「いのち（生命）」が輝く社会とはどういった社会であるかと考えていただき、その上で、その社会を実現するために必要なアイデアを提案いただきます。

サブテーマ「いのちを知る」、「いのちを高める」、「いのちをつむぐ」

「いのちを知る」

生命系全体の中にある私たちがいのちのあり方を確認する。

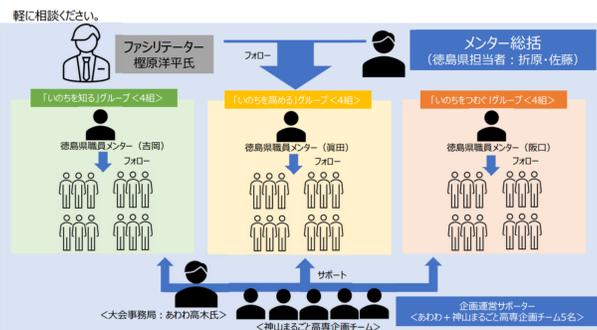
「いのちを高める」

遊びや学び、スポーツや芸術を通して、生きる喜びや楽しさを届け、ともにいのちを高めていく創りの場を創出する。

「いのちをつむぐ」

自然と文化、人と人を結ぶ食の文化の継承を考案し、日本の食文化の継承を促すことにより精神を発信する。

## サポート体制



## 大会本番

(1) 審査  
万博会場にて10分間のプレゼンテーションをしていただき、選択した「サブテーマ」を担当する「スペシャルナビゲーター」から審査・講評をしていただきます。  
「いのちを知る」を選択したグループ 審査員: 福岡伸一氏  
「いのちを高める」を選択したグループ 審査員: 中島さち子氏  
「いのちをつむぐ」を選択したグループ 審査員: 小山薫堂氏

(2) 表彰  
・「福岡伸一プロデューサー賞」: 「いのちを知る」を選択したグループのうち最優秀グループ  
・「中島さち子プロデューサー賞」: 「いのちを高める」を選択したグループのうち最優秀グループ  
・「小山薫堂プロデューサー賞」: 「いのちをつむぐ」を選択したグループのうち最優秀グループ

(3) 当日プログラム (予定)

10月11日 (土) 10:00～17:00	10月12日 (土) 10:00～16:20
10:00～12:00 開会式 「いのちをつむぐ」 4組プレゼン・質疑応答 ゲストスピーカー登壇 中島P講評・表彰式	10:00～12:00 「いのちをつむぐ」 4組プレゼン・質疑応答 小山P講評・表彰式
12:00～13:00 休憩	11:40～13:00 休憩
13:00～15:30 「いのちを高める」 4組プレゼン・質疑応答 ゲストスピーカー登壇 福岡P講評・表彰式	13:00～13:45 ゲストスピーカー登壇 13:50～14:10 総評・閉会式 14:20～16:20 交流会
15:30～17:00 交流会	

※本番には県内外で活躍する徳島ゆかりの若手の方々をお招きしご講演いただく予定です。

## プレゼン磨き上げプログラム

登壇者同士の交流促進とアイデアのブラッシュアップ、プレゼン能力の向上のため、登壇者対象のプレゼン磨き上げプログラム<全5回>を行います。

- 第1回 キックオフ (参加者同士のアイデア共有・WS)  
日時: 2025年7月6日 (日)  
10:00～17:00(受付:9:30～)  
場所: とくぎんトモニプラザ アミコ徳島9階会議室 (徳島市寺島本町西1丁目5番地)
- 第2回 大阪・関西万博訪問ツアー  
日時: 2025年7月13日 (日)  
場所: 大阪・関西万博会場
- 第3回 中間発表会 (10分間のプレゼン発表・FB)  
日時: 2025年8月24日 (日)  
10:00～17:00 (予定)  
場所: とくぎんトモニプラザ アミコ徳島9階会議室 (徳島市寺島本町西1丁目5番地)
- 第4回 「スペシャルナビゲーター」によるフィードバック  
<「いのちを知る」を選択したグループ>  
小山薫堂氏からのフィードバック  
福岡伸一氏からのフィードバック  
日時: 2025年9月11日 (木) 18:30～20:00  
場所: オンライン
- <「いのちを高める」を選択したグループ>  
中島さち子氏からのフィードバック  
日時: 2025年9月11日 (木) 16:30～18:00  
場所: オンライン
- <「いのちをつむぐ」を選択したグループ>  
神山まるごと高専企画チームからのフィードバック  
日時: 2025年9月10日 (水) 17:00～18:30  
場所: オンライン
- 第5回 直前発表会・最終調整  
日時: 9月28日 (日)  
10:00～17:00 (予定)  
場所: とくぎんトモニプラザ アミコ徳島9階会議室 (徳島市寺島本町西1丁目5番地)

## 磨き上げのための ミーティング風景



## 万博会場での プレゼンテーション



## わたしたちのいのちは だれのためのいのちだろう？

私の思う「いのち輝く未来社会」  
＝みんなが幸せに生きられる社会  
みんなが周りのことを大切に  
みんなが周りから大切にされる  
心からの「ありがとう」が自然に飛び交う日常

## みんなが幸せに生きられる社会を 実現するために

いただきますを言わない、ポーズになっている  
食への関心が薄くなってきている  
「食べることは生きること」  
日常の中の「食べる」という行為を大事にする  
毎日当たり前に関わっている人  
実際の姿を見ることができない人も大切にできる



## 私の想いを誰でも体験できるツールを

お弁当に詰まっている「いのちのつながり」を可視化するアプリ  
**お弁当アプリBENTOTTO**



## なぜお弁当？

1. 自分のためにだけにデザインされている  
→ 自分のためにだけ生きたいのちを意識するきっかけに
2. 食材が見えやすい  
→ 食材そのもののいのちについて考えるきっかけに
3. 開ける瞬間にワクワクする  
→ 作った人の想いを想像するきっかけに



## お弁当アプリ BENTOTTO

BENTO + TTO (Time To Open)  
意味: 開ける時間＝つながる瞬間  
開けよう、つながりのふた。  
コンセプト  
お弁当から見るいのちのリレー  
食から広がる「ありがとう」



## BENTOTTOでできること

1. お弁当をカメラで映すと、食材を認識し、データベースと紐付ける
2. 食材の情報や生産者・運んだ人のストーリーが表示される
3. 食べた人・作った人の「声」や感想が見れる
4. 世界中のお弁当を通して「いのちのリレー」とつながれる



スマホで読み込むと...



## BENTOTTOは便利ツールではなく、 「共感」を喚起するツールに。

「食を通じて人と人のつながりを可視化する」アプリ

文化や感情に訴え、「いのちのつながり」を感じてもらいたい

## まずは“QRコード”から

QRコードを読み込むだけで生産者さんの情報を見ることができる  
Ex) 生産者さんの顔、食材を育てる工程、食材に込める想い、食べる人へのメッセージ  
「いのちのつながり」を身近に感じる体験を届けたい  
生鮮食品のパッケージやポップにつけたい



## 現在アプリのプロトタイプ製作中

多くの企業様・生産者様にご協力いただき、アプリの実装に向けて挑戦し続けています！

- 協力いただいている方々
- ・株式会社あわむ 吉田実賢氏・高木晴香氏・大島朋子氏 (VISION MASHUP STAGE企画助言/メンター)
- ・(株)リンクアンドモチベーション 榎原洋平氏 (企画助言/メンター)
- ・徳島県観光スポーツ文化局万博推進課課長 阪口優氏 (企画助言/メンター)
- ・N35-インターナショナル株式会社 小山薫堂氏 (EXPO2025テーマ事業プロデューサー/企画・発想面での助言)
- ・徳島大学 人と地域共創センター 特任助教 松本卓也氏 (探究内容に関する助言)
- ・株式会社 FINC Technologies 代表取締役社長 小島かおり氏 (アプリ開発・助言)
- ・PASONA 執行役員副本部長 成長戦略本部ベンチャー本部 塩谷愛氏 (アプリ開発・助言)
- ・中道農園 中道唯幸氏 (アプリ開発・食材の背景・生産者の視点に関する協力)
- ・株式会社クロスメディア 中井深我氏 (子育て支援アプリあべびこ開発者/アプリ開発・探究内容に関する助言)